



「福岡市の観光・MICE」2018年版 (福岡市観光統計)

調査方法・用語の定義

1 入込観光客数

- (1) 交通手段別の年間降客者数を把握する。
- (2) (1) の数に入込観光客率を乗じて、交通手段別の入込観光客数を算出する。

※ 入込観光客率は過去の福岡市観光客動態調査の結果をもとに、過去の傾向等を勘案して算出している。

2 宿泊観光客数

- (1) 観光庁の「宿泊旅行統計調査」の結果を利用し、宿泊客数を把握する。
- (2) (1) の数に宿泊観光客率を乗じて、宿泊観光客数を算出する。

※ 宿泊観光客率は過去の福岡市観光客動態調査の結果をもとに、過去の傾向等を勘案して算出している。

3 外国人宿泊客数

- (1) 観光庁の「宿泊旅行統計調査」の結果を利用し、宿泊客数を把握する。

【用語の定義】

○観光・・・名所・旧跡めぐり、ショッピング、食、スポーツ観戦、コンサート、コンベンション、テーマパーク、ヘルスツーリズムなど

○観光客・・・上記の観光目的で旅行している人及び仕事（社用、公用、商用、会議、研修など）兼観光、家事（帰省、医療、冠婚葬祭など）兼観光の目的で旅行している人

○訪日外国人旅行者・・・訪日外国人旅行者とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外国人旅行者に含まれるが、当該旅行者数に乗員上陸数（特例上陸許可）は含まれない。

※ 前年比や構成比は、四捨五入の関係で掲載数値の比と異なる場合がある。

※ 出典

- ・日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数（2017年年間推計値）」
- ・観光庁「訪日外国人消費動向調査」
- ・観光庁「宿泊旅行統計調査」
- ・法務省「出入国管理統計」
- ・観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」（2017.3月公表/2015年調査）
- ・観光庁「平成24年観光地域経済調査」（2015.7月公表/2011年調査）
- ・日本政策金融公庫総合研究所「インバウンド（外国人観光客）の受け入れに関するアンケート」結果の概要（2018.1月公表/2017年調査）

目次

1	訪日外国人旅行者数及び訪日外国人旅行消費額の推移	3
2	福岡市の外国人入国者数の推移	4
3	日本全体（訪日外国人旅行者）と福岡市（外国人入国者）の国籍別訪問割合比較	5
4	福岡市における国際会議等の状況	6
	福岡市におけるコンベンションの経済波及効果	8
5	福岡市におけるクルーズの状況	9
6	宿泊の状況	10
7	福岡市における入込観光客数の推移	13
8	訪日外国人等の動向（地方への訪問状況等）	14
9	福岡市の観光消費額と経済波及効果	17
参考-1	【全国ベースによる考察】観光消費がもたらす他産業への経済波及効果	18
参考-2	【全国ベースによる考察】観光消費がもたらす中小企業への経済波及効果	19
参考-3	【考察】福岡市の観光消費に係る市域内の資金の動き	21

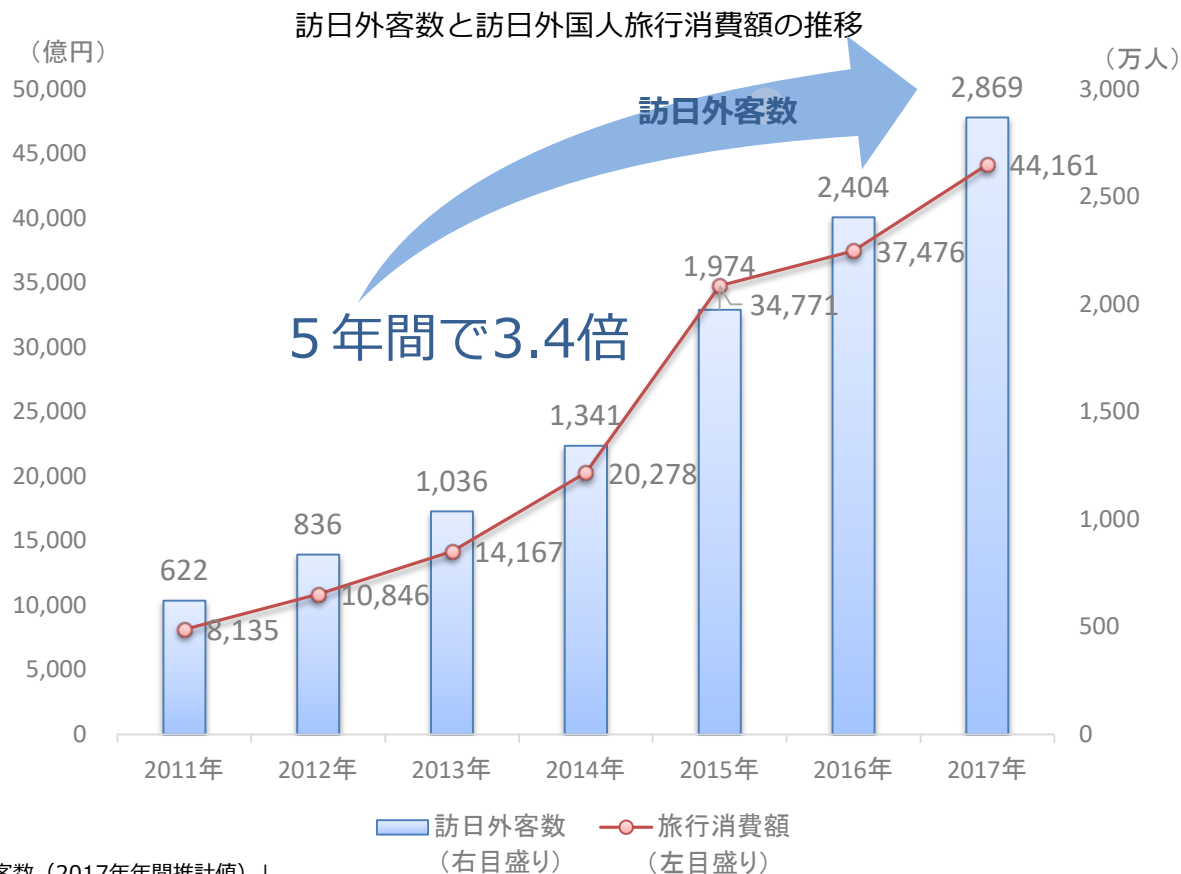
1 訪日外国人旅行者数及び訪日外国人旅行消費額の推移

- 訪日外国人旅行者数（2017年） : 約2,869万人
- ※ 福岡市における外国人入国者数:約298.2万人（国の約10%）

※ 訪日外国人旅行者とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。
駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外国人旅行者に含まれる。
なお、左記訪日外国人旅行者数には、乗員上陸数（特例上陸許可）は含まれない。

- 訪日外国人旅行消費額（2017年） : 約4兆4,000億円
- ※ 福岡市における訪日外国人旅行消費額（推計）:約3,860億円（国の約9%）

2017年福岡市外国人入国者数（出入国管理統計）と国籍別消費単価（訪日外国人消費動向調査）を用いて試算。
注）福岡市観光消費額の算出方法とは異なるため、あくまでも参考値。



資料：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数（2017年年間推計値）」
：観光庁「訪日外国人消費動向調査（平成29年年間値（速報））」「訪日外国人旅行者数の推移」

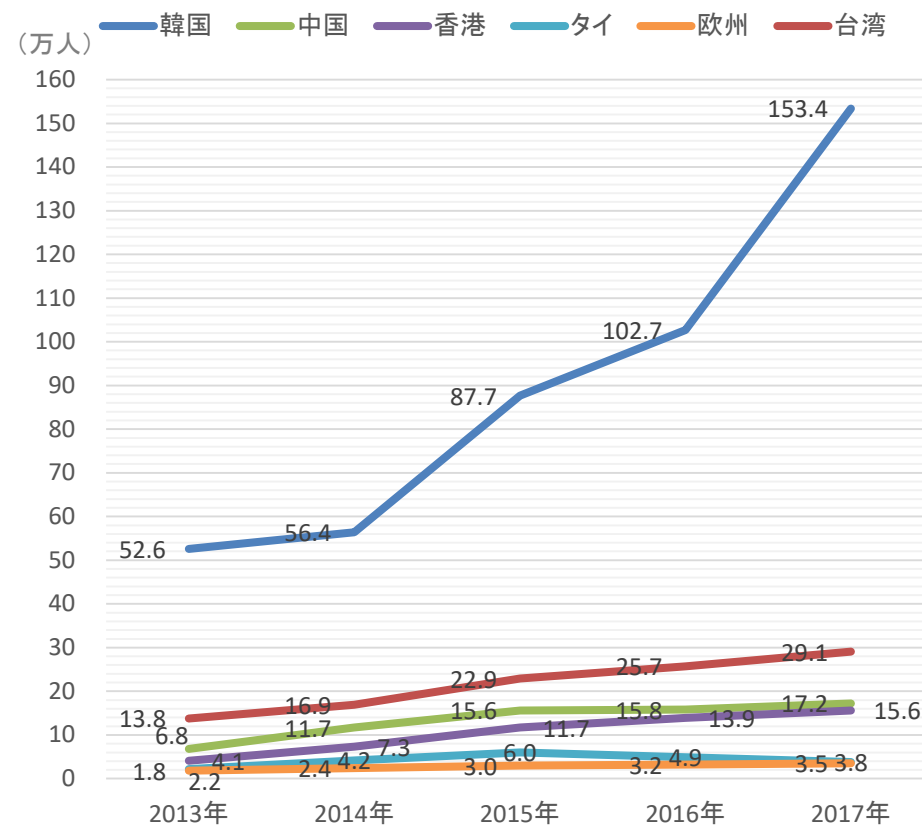
2 福岡市の外国人入国者数の推移

- 入国者数5年間で **3.7倍** 81.7万人（2012年） → 298.3万人（2017年）
- 韓国からの入国者が **50%以上**（前年比1.49倍）

福岡空港及び博多港からの外国人入国者数の推移



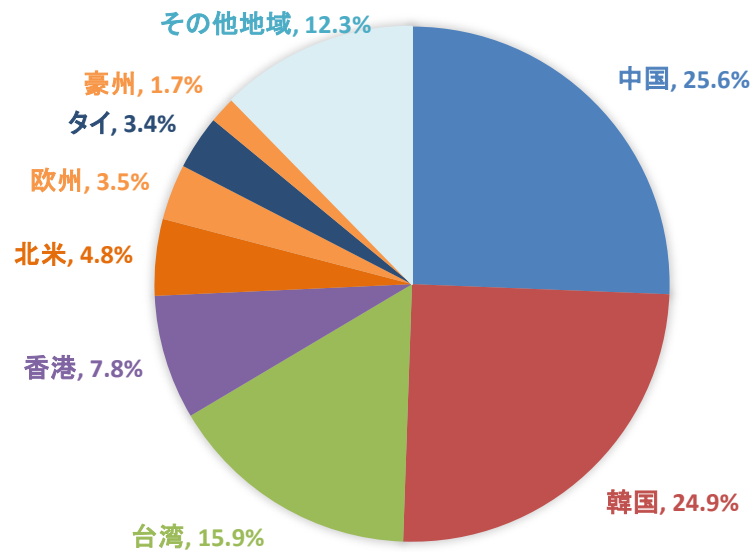
主な国籍別福岡市への入国推移



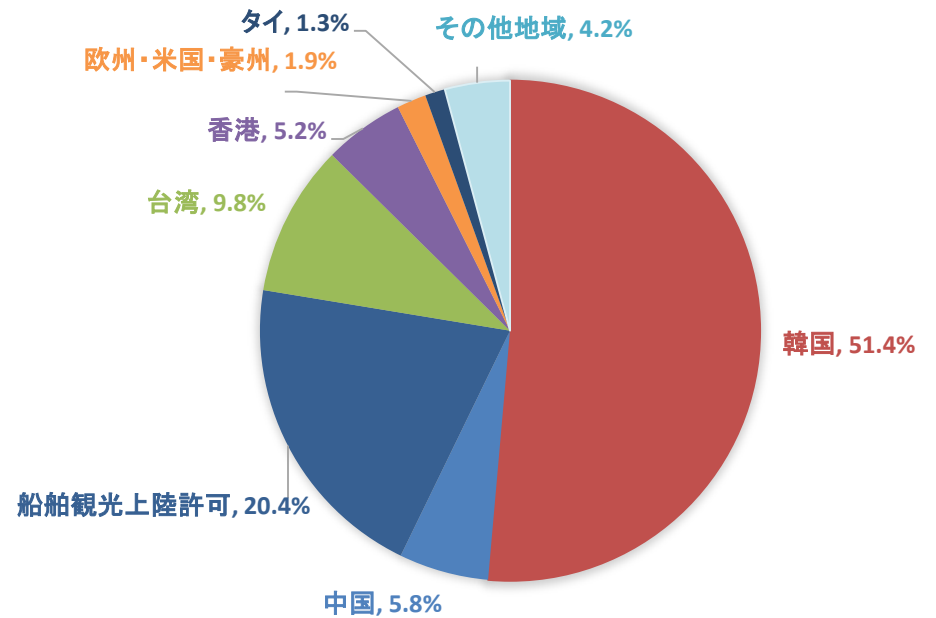
3 日本全体（訪日外国人旅行者）と福岡市（外国人入国者）の国籍別訪問割合比較

- 日本全体では**中国**からの訪問割合（**25.6%**）が最も高い。
- 福岡市では**韓国**からの訪問割合（**51.4%**）が過半数。
- 日本と福岡を比較すると欧米豪の市場に違いがみられる。

日本における訪日外客の割合（2017年推計値）

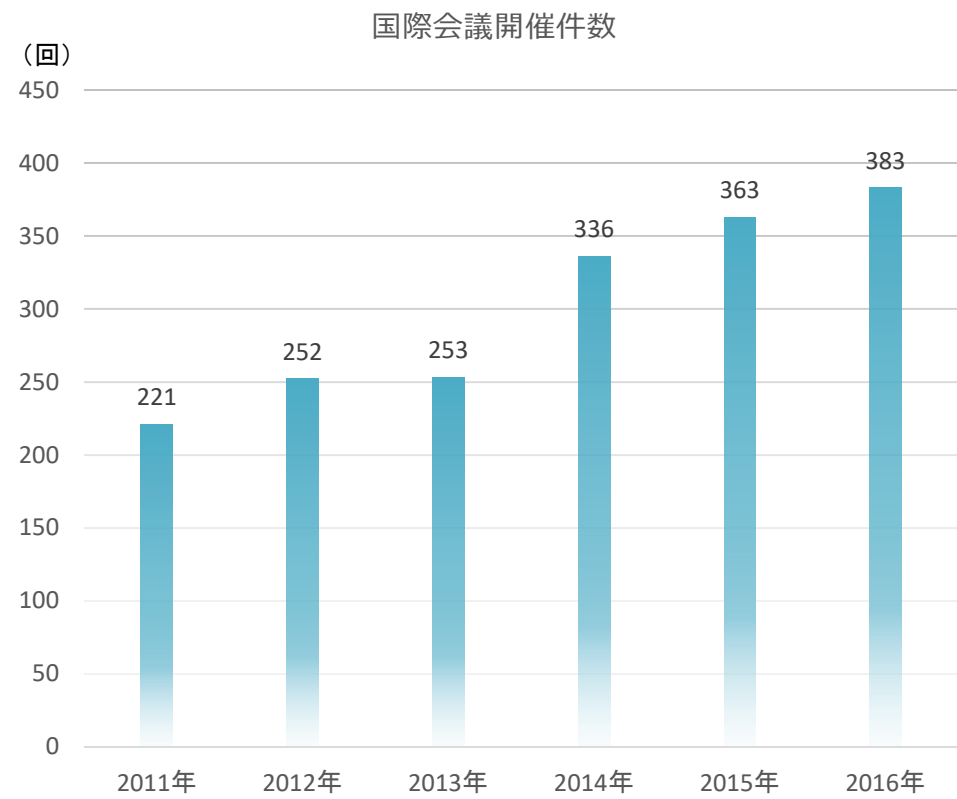


福岡における外国人入国者の割合（2017年速報値）



4-1 福岡市における国際会議等の状況

- **国際会議開催件数** 8年連続で政令市中第1位
- **会議開催分野は** ①「科学・技術・自然」②「芸術・文化・教育」③「医学」 の順に多く、**開催場所は** 大学が53.9%
- **国際会議・国内会議開催後に** 市内各地への立ち寄り がみられる
- **大型国際会議時には** 外国人観光客による消費が期待 される



資料：日本政府観光局（JNTO）「国際会議統計」

都市別 国際会議の開催状況

(単位:件数)

年		1位	2位	3位	4位	5位	6位
2011	都市	東京	福岡	横浜	京都	名古屋	神戸
	件数	470	221	169	137	112	83
2012	都市	東京	福岡	京都	横浜	大阪	名古屋
	件数	500	252	196	191	140	126
2013	都市	東京	福岡	横浜	京都	大阪	名古屋
	件数	531	253	226	176	172	143
2014	都市	東京	福岡	京都	横浜	名古屋	大阪
	件数	543	336	202	200	163	130
2015	都市	東京	福岡	仙台	京都	横浜	名古屋
	件数	557	363	221	218	190	178
2016	都市	東京	福岡	京都	神戸	名古屋	横浜
	件数	574	383	278	260	203	189

JNTO国際会議統計の選定基準

以下の①～④を全て満たす国際会議を「国際会議」とする。

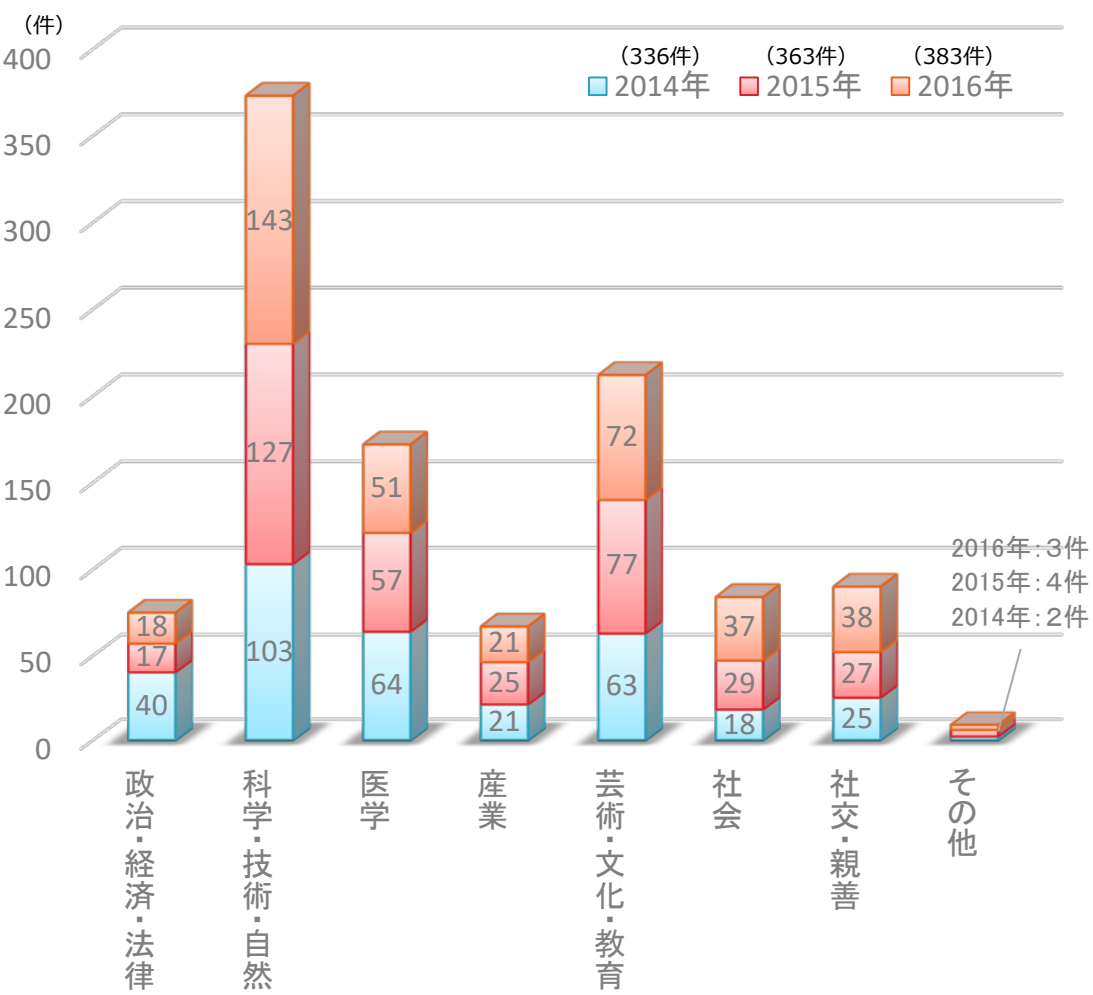
①主催者:「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」
※「特定企業の利益を追求することを目的とした会議」の主催者を除く。

②参加者総数:50名以上 ③参加国:日本を含む3カ国以上 ④開催期間:1日以上

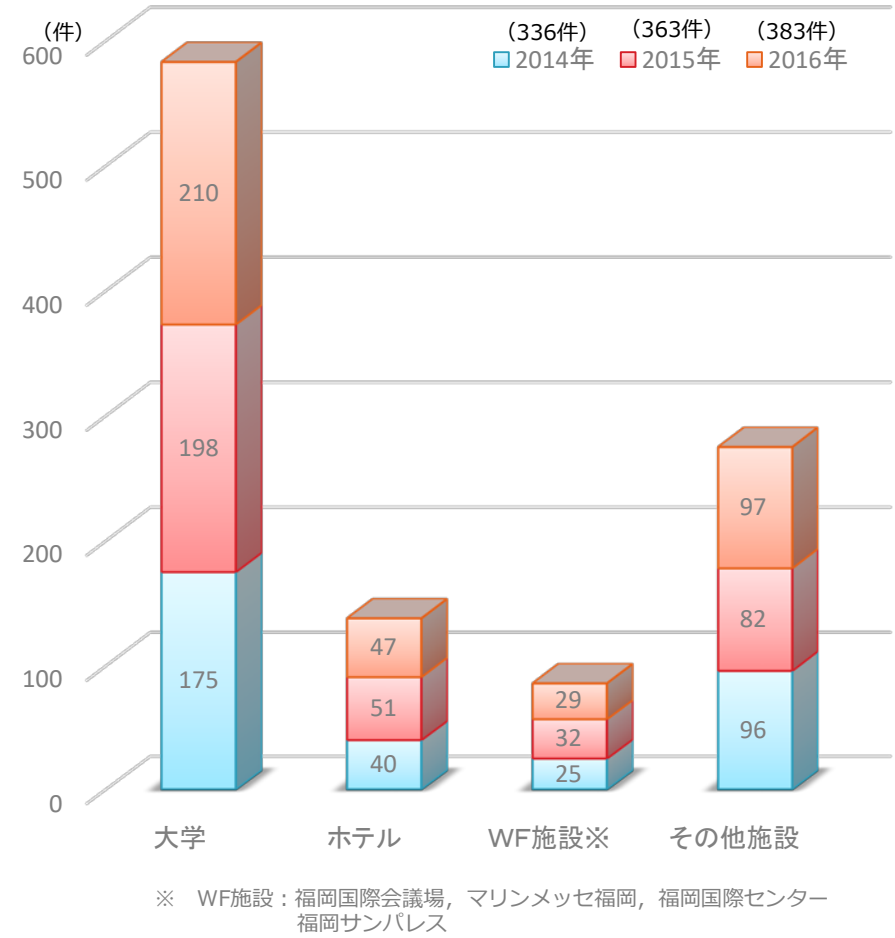
資料：日本政府観光局（JNTO）「国際会議統計」

4-2 福岡市における国際会議等の状況

分野別開催件数



会場別開催件数



4-3 福岡市におけるコンベンションの波及効果

- 一人当たりの消費額（全催事平均） : 約64,000円
- 経済波及効果（全国） : 約1,466億円
- 雇用創出効果（全国） : 約11,500人
- 税収増大効果（全国） : 約65億円
- ビジネス誘発効果（展示会全体） : 約919億円

※(一財) 福岡コンベンションセンター
「福岡市のコンベンションゾーンにおける経済波及効果等調査(2016年3月)」

福岡市のコンベンションゾーンにある4施設（マリンメッセ福岡、福岡国際センター、福岡国際会議場、福岡サンパレス）において年間に開催されるMICEによってもたらされる経済波及効果等の推計を行ったもの。

● 事業者の声（国際会議）

- 飲食店調査結果
 - ・ 大会期間中の外国人客来店者数：平均123.4人
 - ・ 大会期間中の外国人客一人当たりの客単価：平均3,619円

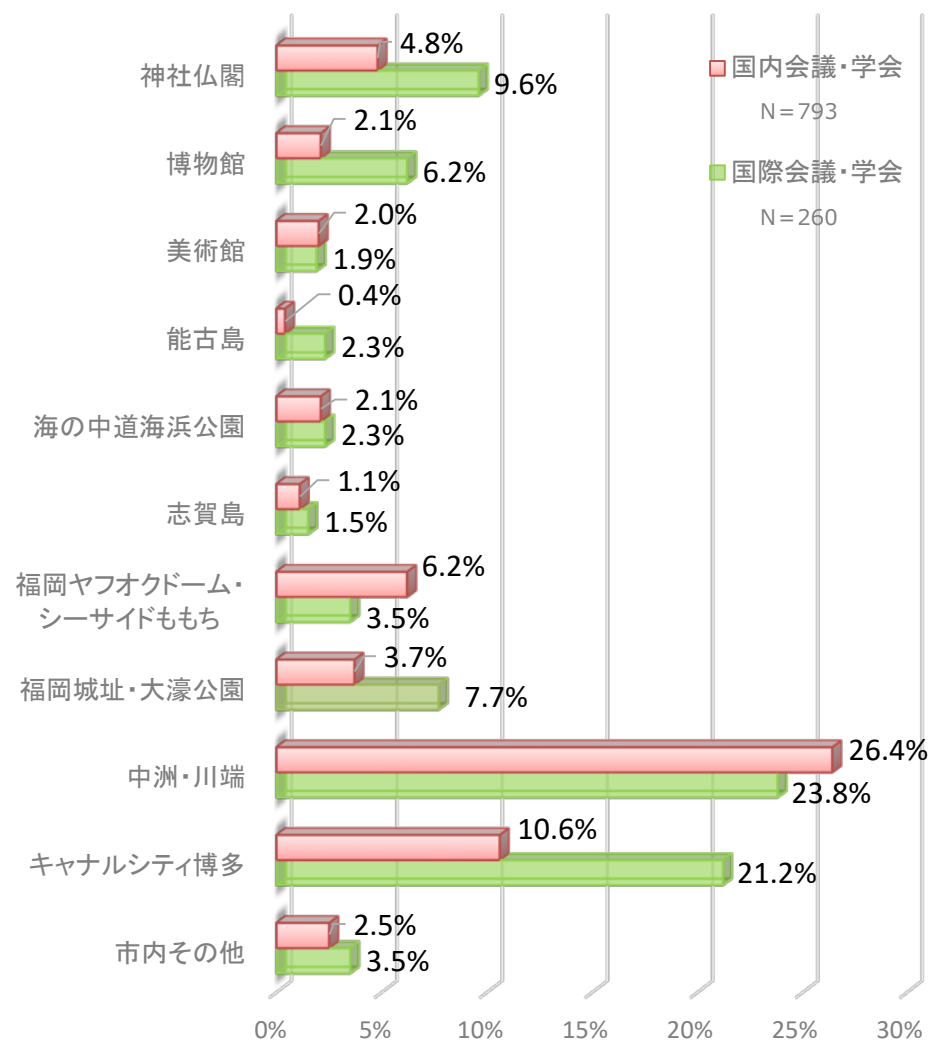
● 外国人向けに特典を用意した商店街において、

「外国人客数が平常時の2倍になった。」
「毎日10名以上の買上げがあった。」
「インドの女性団体客によるまとめ買いがあった。」

などの意見があった。

(ライオンズクラブ国際大会における調査結果)
(2016. 6月24日～28日)

催事開催前後の立ち寄り先（2015年調査）



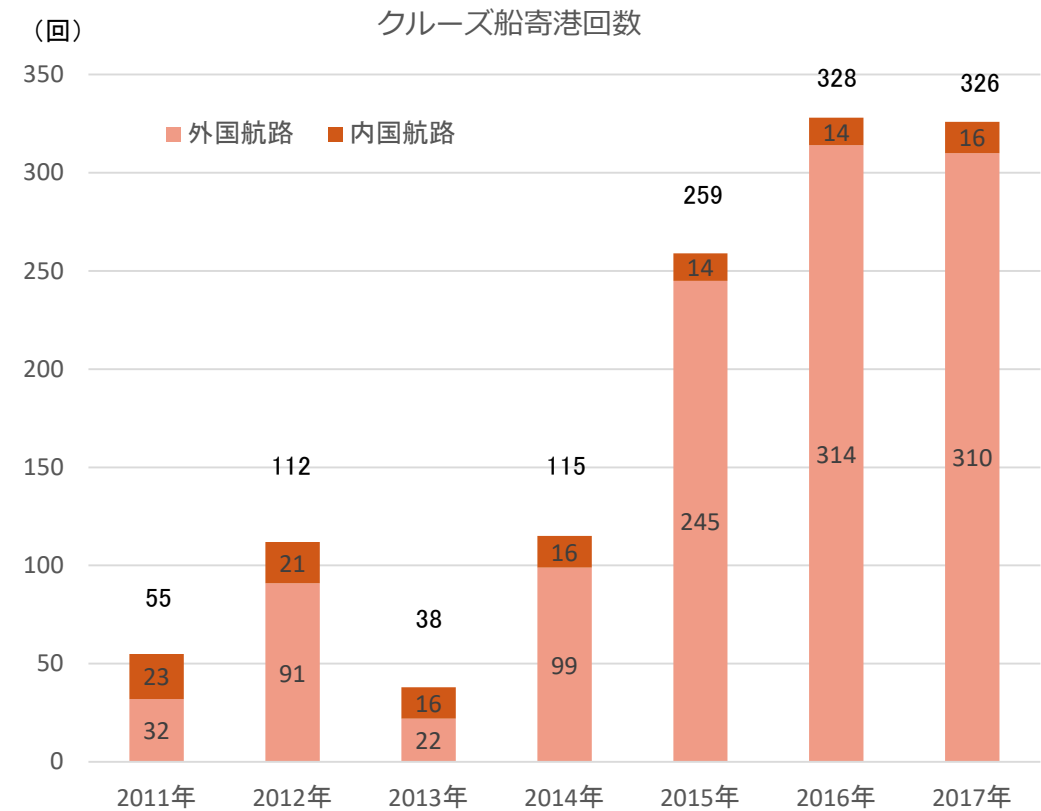
資料：(一財) 福岡コンベンションセンター「福岡市のコンベンションゾーンにおける経済波及効果等調査」
2016年3月

5 福岡市におけるクルーズの状況

● **クルーズ船寄港回数 3年連続日本一**

● **寄港地観光ツアーの多様化の働きかけにより、訪問先の分散化が進展**

※ 大濠公園、福岡城跡、マリンワールド、櫛田神社、油山牧場、天神、友泉亭公園、筥崎宮、宗像大社、九州国立博物館 等



資料：福岡市港湾空港局

クルーズ客のツアー行程（例）



● 事業者の声（クルーズ）

小売店等からの聞き取りでは、

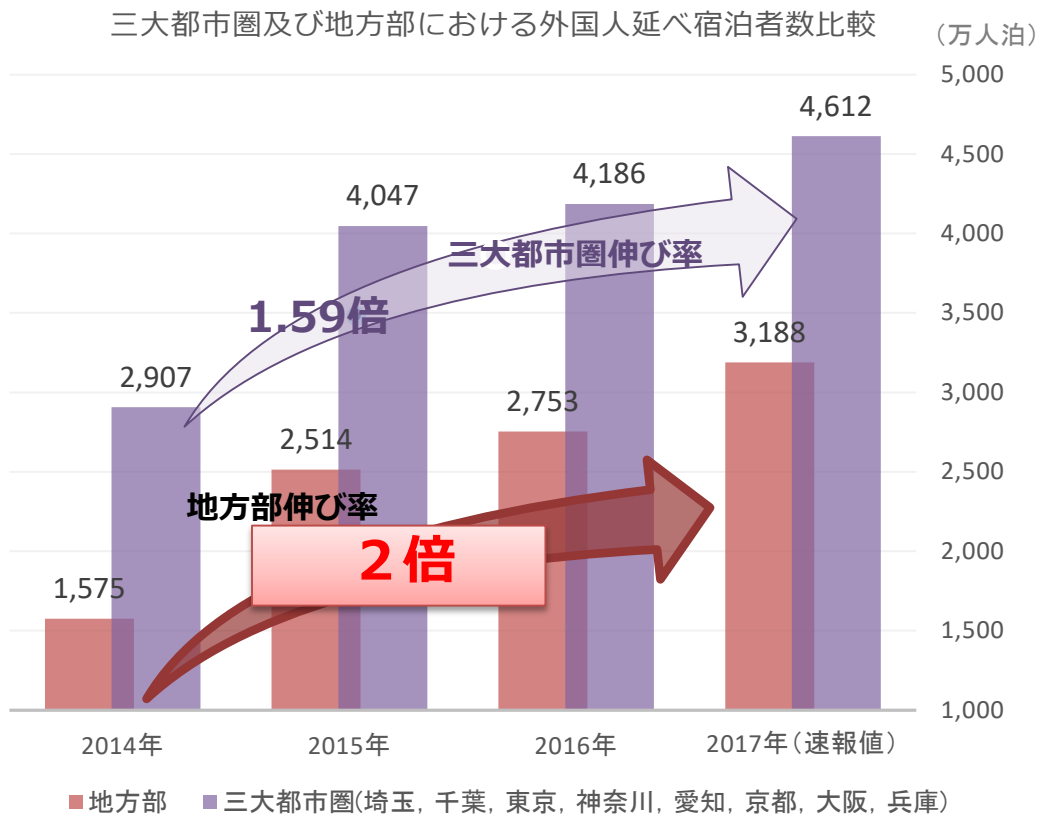
「食材の仕入れは主に福岡市内の業者」
「福岡市内の卸売業者からの仕入れが大多数」
「正社員が昨年の2倍になっている」などの意見が聞かれた。

（クルーズ関連事業者ヒアリング結果（2017.12月～2018.1月））

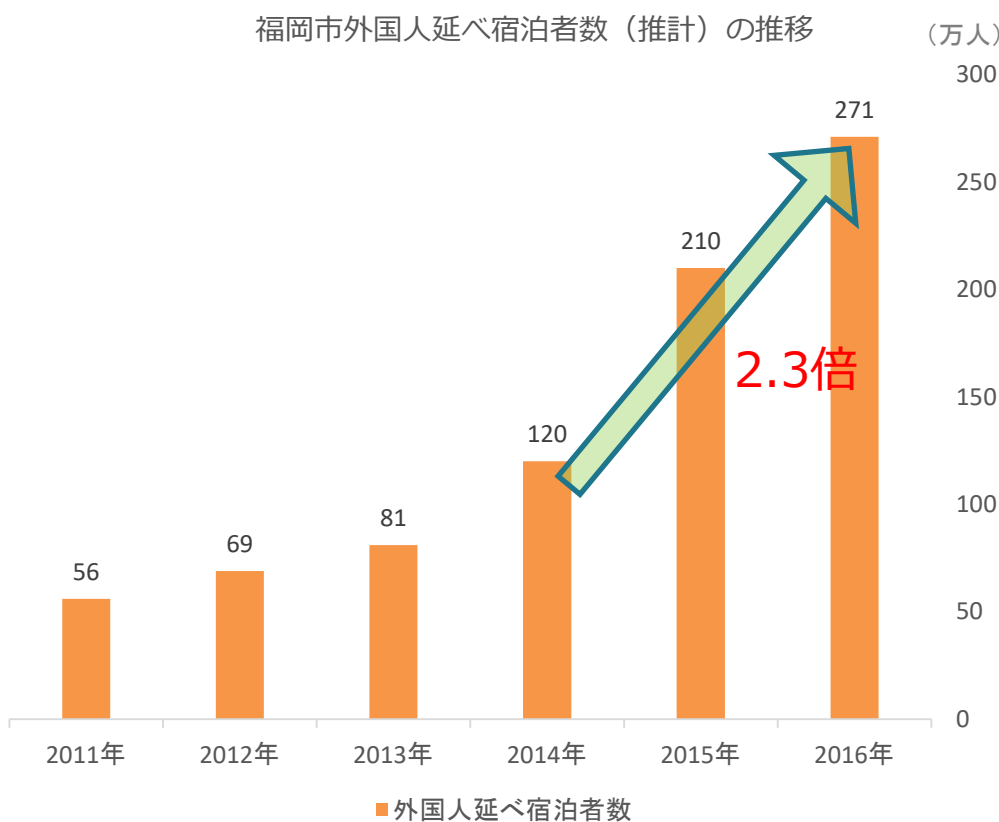
6-1 宿泊の状況

- 外国人延べ宿泊者数は三大都市圏より地方部の伸びが高い
 - ・ 三大都市圏：1.59倍（2014年比） 2,907万人泊 → 4,612万人泊
 - ・ 地方部：2倍（2014年比） 1,575万人泊 → 3,188万人泊
- 福岡市外国人延べ宿泊者数（推計）は地方部の伸び率を超える 2.3倍（2014年比） 120万人泊 → 271万人泊
 - ・ 5年間で 4.8倍

※ 観光庁「宿泊旅行統計調査」による全国調査結果



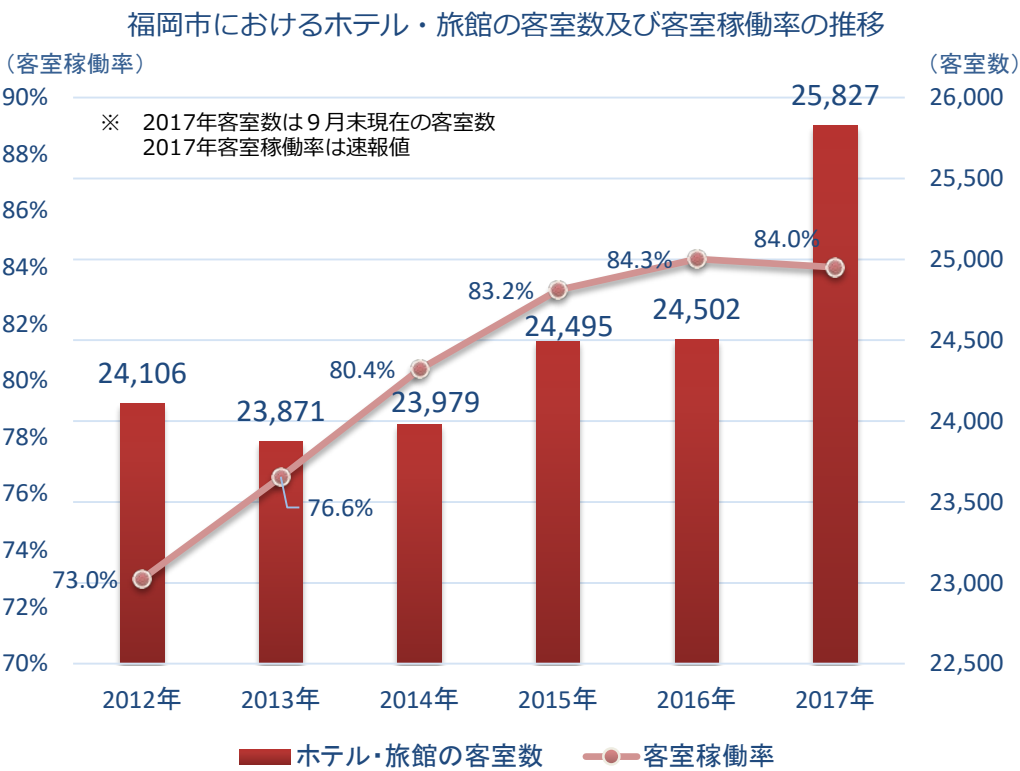
資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」



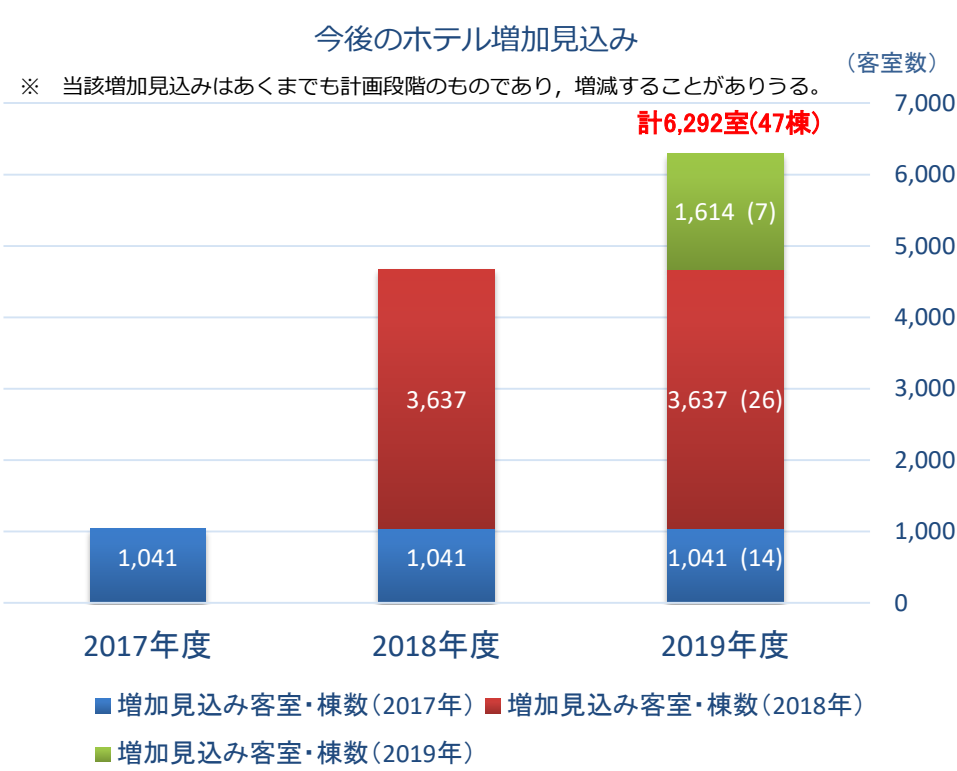
※観光庁「宿泊旅行統計調査」を基に推計

6-2 宿泊の状況

- 福岡市におけるホテル・旅館の客室数 前年比+1,325室 2016年～2017年にかけて急激に増加
- 福岡市において、2017～2019年度の間 計 47棟 6,292室 増加見込み
- 福岡市における客室稼働率は 4年連続 80%以上 で高水準を維持



資料（客室稼働率）：観光庁「宿泊旅行統計調査」
資料（客室数）：「福岡市内旅館施設一覧表」詳細は次頁



※ 2017年増加見込み客室・棟数については増加済み・建設済みの数を含む。
資料：経済観光文化局調べ 2018.3.1現在の見込み

6-3 宿泊の状況（参考データ）

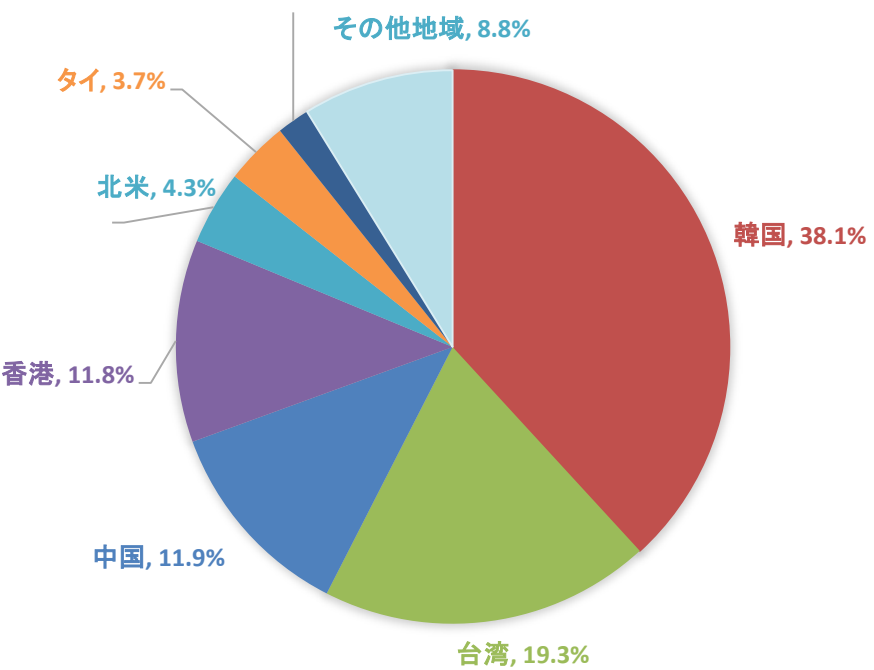
外国人延べ宿泊数<推計値>

(単位:千人)

国・地域	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	
						構成比
韓国	274	285	410	781	1,034	38.1%
中国	63	60	105	254	323	11.9%
香港	38	61	121	238	320	11.8%
台湾	155	198	267	424	523	19.3%
アメリカ	39	47	51	58	104	3.8%
カナダ	3	5	6	11	13	0.5%
イギリス	5	6	7	12	19	0.7%
ドイツ	5	4	5	5	9	0.3%
フランス	3	3	4	7	8	0.3%
シンガポール	8	12	24	39	42	1.5%
タイ	25	30	70	110	101	3.7%
オーストラリア	8	6	9	13	17	0.6%
その他	66	90	122	143	198	7.3%
外国人計	692	807	1,201	2,095	2,711	100.0%
対前年比	124.2	116.6	148.8	174.4	129.4	-

※観光庁「宿泊旅行統計調査」を基に推計。

福岡市の外国人延べ宿泊客数の国籍別割合（2016年）
イギリス、ドイツ、フランス、オーストラリア、1.9%



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」を基に推計

(単位:軒、人、室)

区分	ホテル・旅館			簡易宿所(2015年から新たに記載)			合計		
	数(軒)	客室数	定員数						
2012年	198	24,106	37,003						
2013年	198	23,871	36,773						
2014年	196	23,979	37,261						
2015年	198	24,495	38,308	43	305	3,355	241	24,800	41,663
2016年	197	24,502	39,022	55	372	3,938	252	24,874	42,960
2017年	209	25,827	42,067	135	760	5,782	344	26,587	47,849

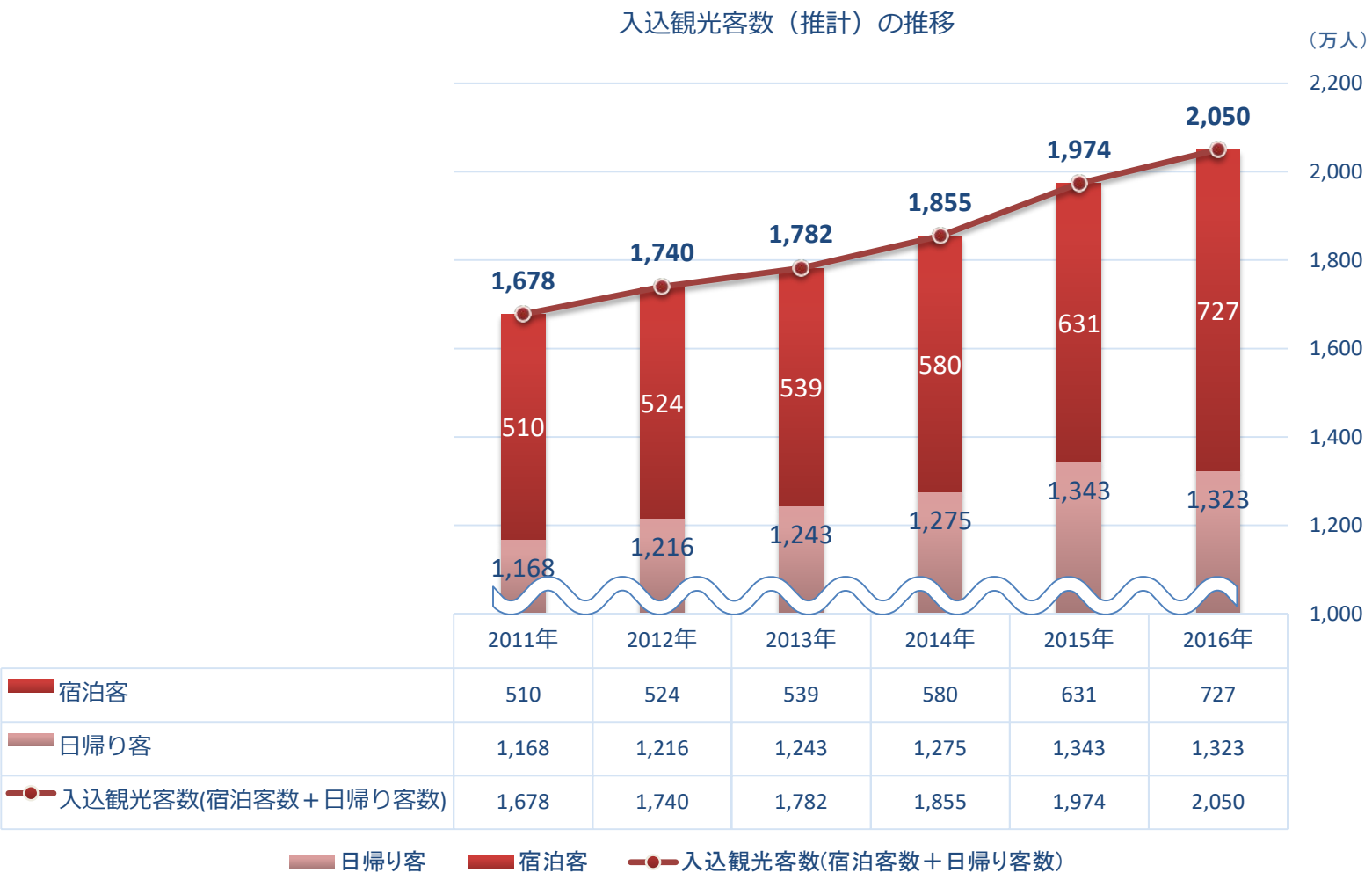
※福岡市が営業を許可している宿泊施設のうち、旅館業法の分類によるホテル・旅館・簡易宿所の集計したもの(資料:「福岡市内旅館施設一覧表」)
なお、下宿営業、社員寮や保養所、風俗関連営業を除いた施設を対象。ただし、社員寮・保養所のうち一般客受入のある施設は、ホテル・旅館に含めている。
2015年より、新たに簡易宿所についても記載。

※2017年は9月末現在。

資料：「福岡市内旅館施設一覧表」

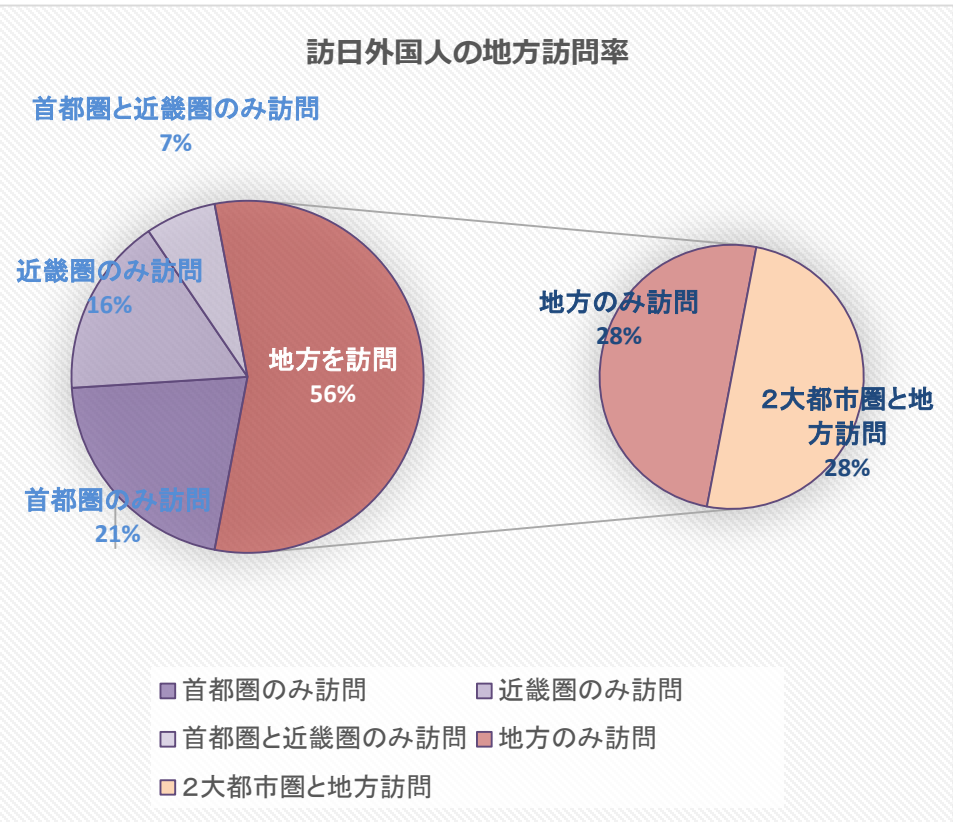
7 福岡市における入込観光客数の推移

- 入込観光客数（推計） **2,000万人突破！**
5年連続過去最高を更新！

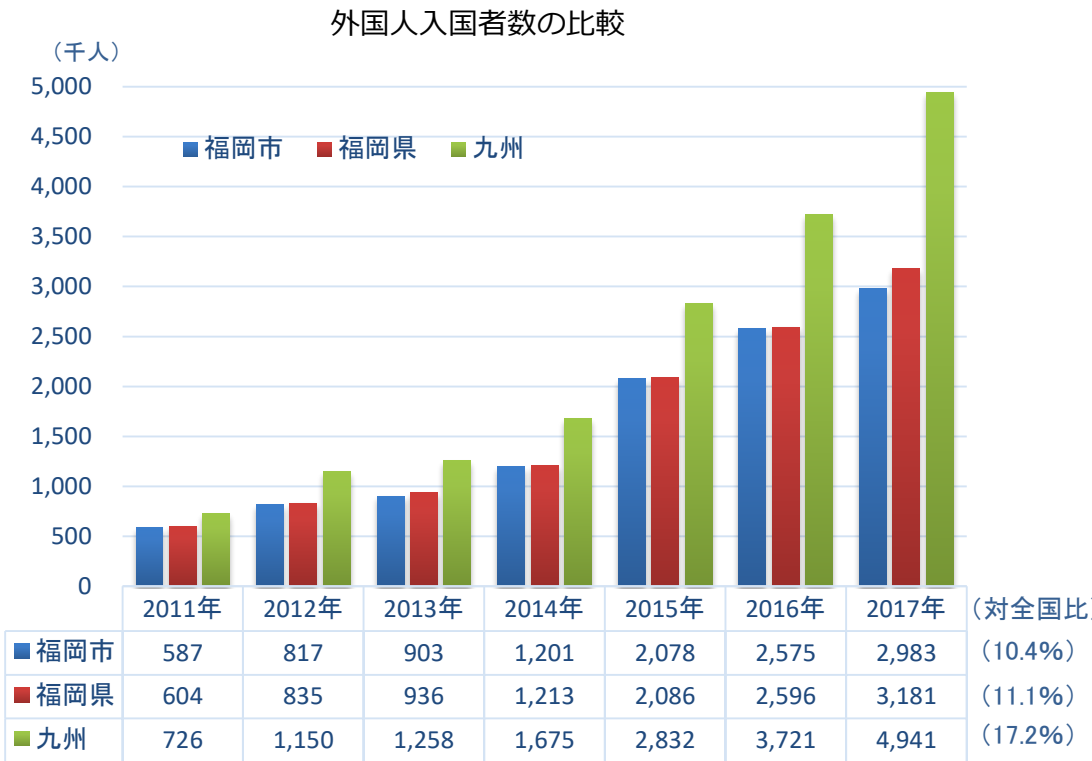


8-1 訪日外国人等の動向（地方への訪問状況等）

- 訪日外国人の **56%** が地方を訪問
- 九州への外国人入国者数 **4年連続で前年比30%UP**
- 九州への外国人入国者数 訪日外国人数の **17.2%**



資料：観光庁「平成26年訪日外国人観光客の地方訪問状況」



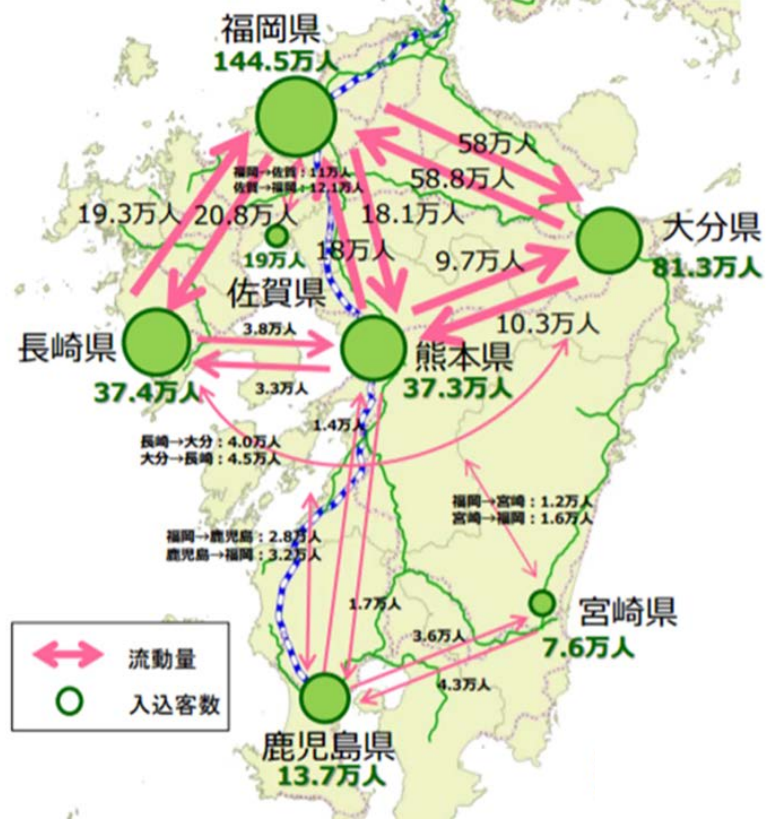
※訪日外国人数：2,869万人（2017年）

資料：法務省「出入国管理統計」

8-2 訪日外国人等の動向（地方への訪問状況等）

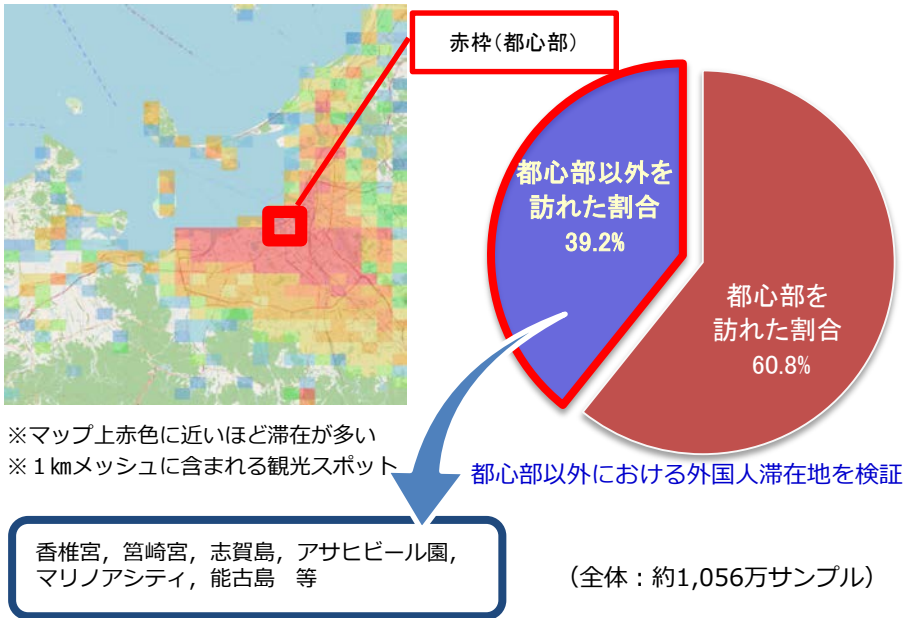
- 訪日外国人の九州における地域間流動 **福岡県からの流出・福岡県への流入が多い** **九州のハブ機能を担っている**
- 福岡市における外国人の滞在 **都心部滞在：約60%** **非都心部滞在約40%**
 - ・ **香椎宮、アサヒビール園、マリノアシティ** など広域に滞在

図 九州地方の入込客数と地域間流動量（2016年）



資料：国土交通省「FF-Data」
※ 国際航空旅客動態調査及び訪日外国人消費動向調査のサンプルデータから国土交通省作成

地域経済分析システム（RESAS）による外国人滞在分析



【注記】
滞在者数とは、1kmメッシュに連続して1時間以上滞在した外国人数を日別に算出し、対象期間の日数分を積算した延べ人数を表している。
同一人物が複数のメッシュに滞在した場合、複数カウントしている。
同一人物が該当メッシュに複数日に跨って滞在した場合、複数カウントしている。

資料：経済産業省、内閣官房(まち・ひと・しごと創生本部事務局)「地域経済分析システム（RESAS）」

8-3 訪日外国人等の動向（参考データ）

- 観光情報サイト「よかなび」の閲覧状況
 - ・ スポット情報閲覧ランキング：言語別に特徴あり 東長寺（英語） 福岡市鮮魚市場（中国語繁体字） など
 - ・ 特集記事閲覧ランキング：言語別に特徴あり 能古島・志賀島特集（英語、中国語繁体字で1位） 日本庭園特集（韓国語、中国語簡体字で1位）
- 福岡市観光案内ボランティアまち歩きコースの状況
 - ・ 市内様々なエリアのコースを開発

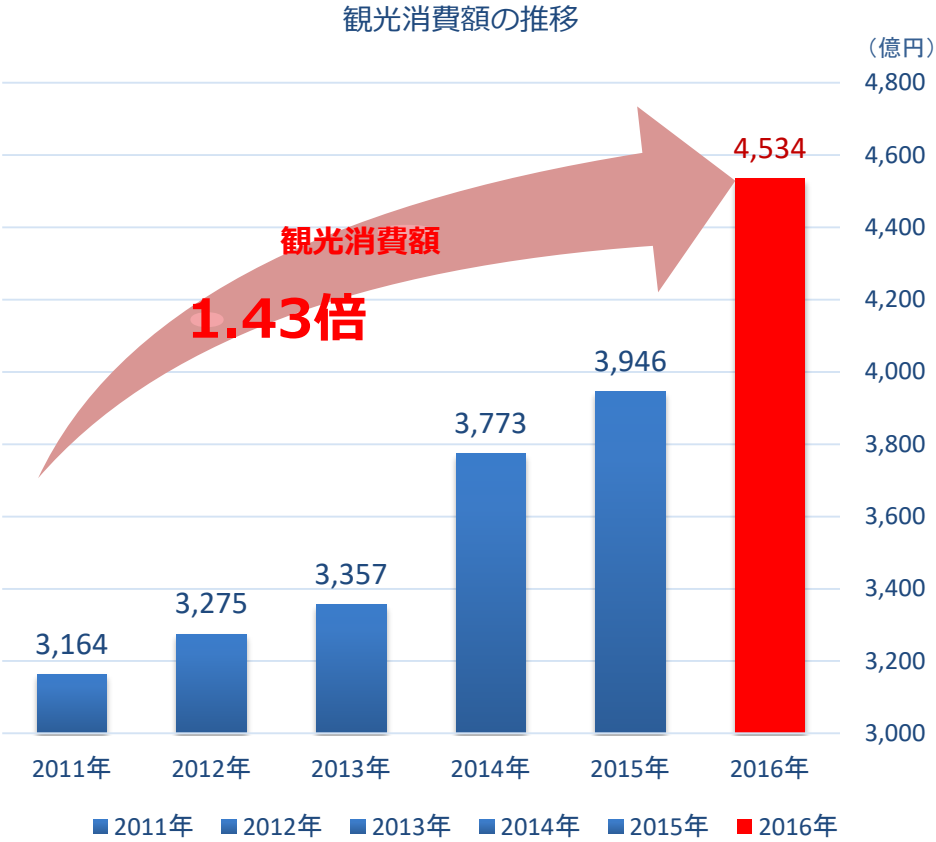
観光情報サイト「よかなび」の閲覧状況					
【スポット情報閲覧ランキング(2016.4.1～2016.12.31)】					
順位	日本語	英語	韓国語	中国語(繁体字)	中国語(簡体字)
	スポット名	スポット名	スポット名	スポット名	スポット名
1	のこのしまアイランドパーク	海の中道海浜公園	キャナルシティ博多	キャナルシティ博多	キャナルシティ博多
2	櫛田神社	天神地下街	シーサイドももち海浜公園	海の中道海浜公園	福岡郊一
3	福岡タワー	福岡タワー	福岡タワー	福岡市鮮魚市場	舞鶴公園
4	海の中道海浜公園	東長寺	太宰府天満宮	のこのしまアイランドパーク	太宰府天満宮
5	かしかえん	櫛田神社	大濠公園日本庭園	櫛田神社	海の中道海浜公園

【特集記事閲覧ランキング(2016.4.1～2016.12.31)】					
順位	日本語	英語	韓国語	中国語(繁体字)	中国語(簡体字)
	件名・場所等	件名・場所等	件名・場所等	件名・場所等	件名・場所等
1	能古島・志賀島	能古島・志賀島	日本庭園 (友泉亭・楽水園等)	能古島・志賀島	日本庭園 (友泉亭・楽水園等)
2	コスモススポット (海の中道・能古島等)	買い物スポット (天神・博多・中洲川端等)	もつ鍋・水炊き	夜景スポット (片江展望台・水上バス等)	買い物スポット (天神・博多・中洲川端等)
3	福岡市から直行で行ける離島 (香岐・対馬・屋久島等)	日本庭園 (友泉亭・大濠公園・楽水園等)	山笠・博多どんたく	山笠・博多どんたく	もつ鍋・水炊き
4	山笠・博多どんたく	菜の花スポット (海の中道・能古島・古賀市等)	能古島・志賀島	日本庭園 (友泉亭・楽水園等)	能古島・志賀島
5	ビーチスポット (シーサイドももち・志賀島等)	山笠・博多どんたく	夜景スポット (片江展望台・水上バス等)	菜の花スポット (海の中道・能古島・古賀市等)	山笠・博多どんたく

福岡市観光案内ボランティアまち歩きコースの状況		
【2016年度、2017年度コースより抜粋】		
	案内先	ツアー名
東区	香椎宮周辺	勅使道から古の櫛日宮
	箱崎周辺	唐津街道を歩く！箱崎編
博多区	清川～美野島	路地裏から見守る鎮守さま発見コース（ハロウィン）
	清川～美野島	路地から見守る鎮守さまを発見するコース（夏祭り）
	諸岡・板付遺跡	古代ロマンまち歩き 諸岡・板付編
	南福岡駅～埋蔵文化センター	古代ロマンまち歩き 埋蔵文化財センター
	竹下駅～	古代ロマンまち歩き 那珂・比恵編
中央区	大濠～今川	唐津街道を歩く！唐人町編
	平尾・桜坂	平尾山荘・松風園コース
南区	高宮・野間周辺	高宮・野間のぶらぶら今昔物語
早良区	西新商店街	西新商店街（勝鷹まつり）
	西新・百道地区	元寇防塁ツアー
	西新商店街～紅葉八幡宮	西新から紅葉八幡宮へ
	西新～藤崎	唐津街道を歩く！西新編
西区	姪浜周辺	唐津街道を歩く！姪浜編
	今宿周辺	唐津街道を歩く！今宿編
	能古島	歴史ロマンと豊かな自然満喫コース

9 福岡市の観光消費額と経済波及効果

- 観光消費額（2016年推計）
 - ・ 5年間で **1.43倍** 3,164億円 → 4,534億円
 - ・ 前年比 **約15.0%UP**



観光による経済効果（2010年試算値等）

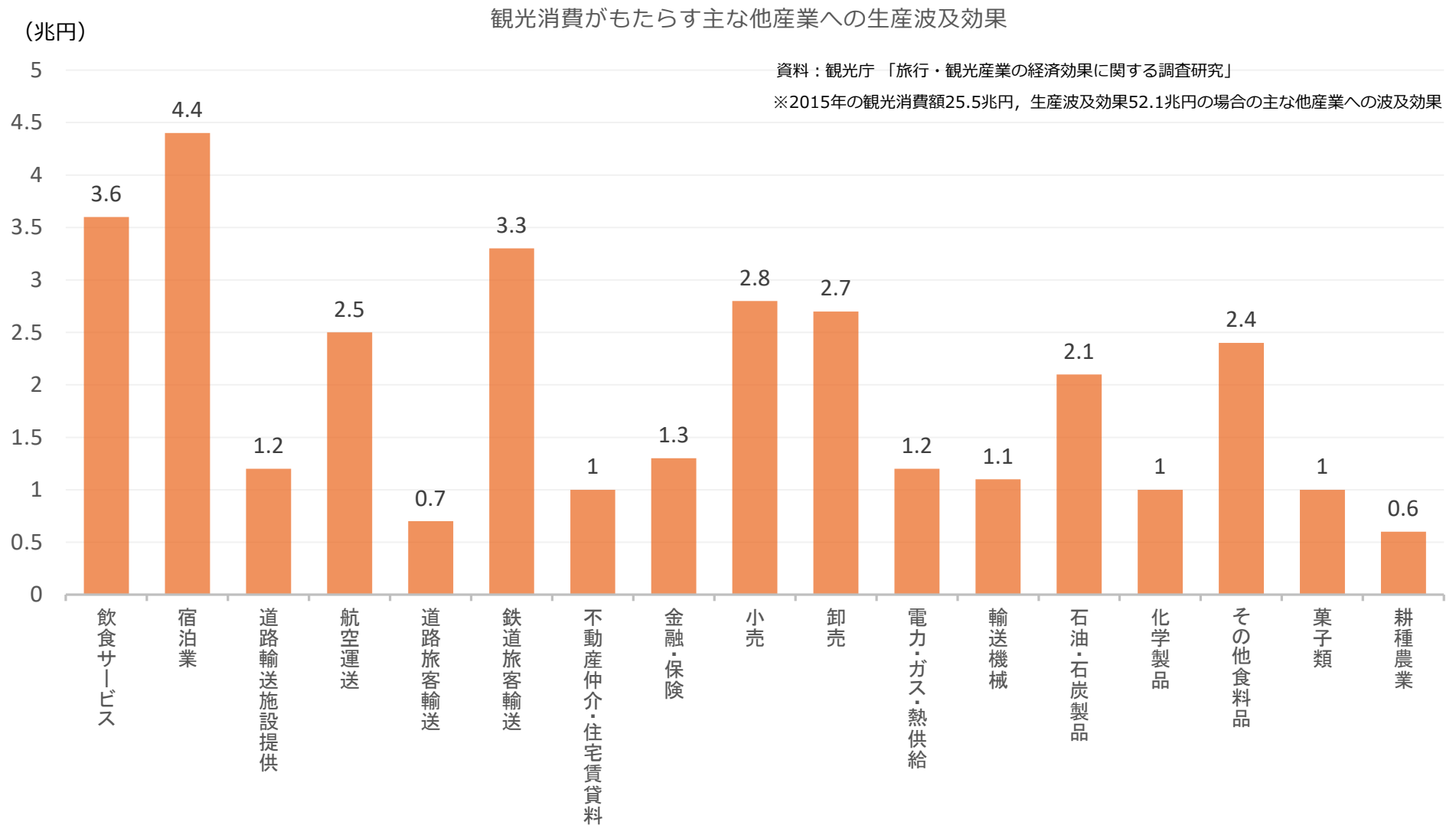
	観光消費額	経済波及効果	雇用効果	税収効果
2010年	3,213億円	4,680億円※1	3.3万人	51.2億円
2016年	4,534億円	5,320億円※2	増加	増加

※1 資料：福岡観光・集客戦略2013

※2 2011年産業連関表を使用。観光客の消費構成を下記の資料から推計したもの。

国内観光客の消費構成：観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」
訪日外国人の消費構成：観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」
経済産業省、内閣官房(まち・ひと・しごと創生本部事務局)
「地域経済分析システム（RESAS）」外国人消費の構造

【参考- 1】 観光消費がもたらす他産業への経済波及効果（全国ベースによる考察）



【参考-2】 観光消費がもたらす中小企業への経済波及効果（全国ベースによる考察）

- 中小企業※において、顧客に外国人観光客がいる割合 アンケート回答企業全体の **47%**（4人以下の事業所も38.2%が顧客有り）

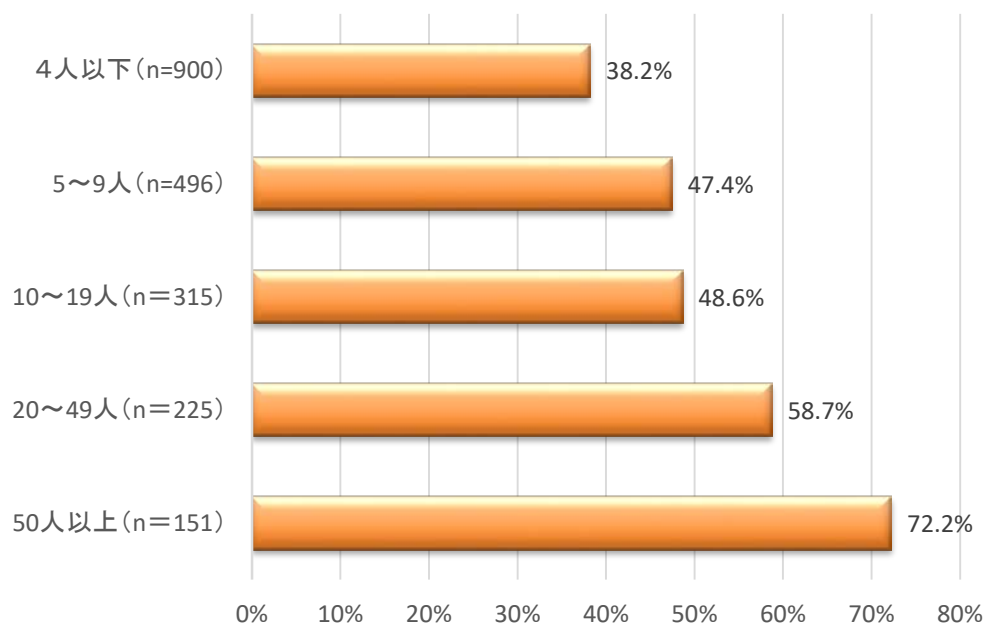
・ 業種別では、 宿泊業：84.4% 運輸業：63.8% 飲食店：57.6%

※ 小売業、飲食店、宿泊業、運輸業（貨物運送と個人タクシーは除く。）のいずれかを営む企業（日本政策金融公庫総合研究所実施のアンケートによる）

- 外国人観光客を多く受け入れることで業績を伸ばしている企業が少なくない と推察される

資料：日本政策金融公庫総合研究所「外国人観光客の受け入れに関するアンケート」

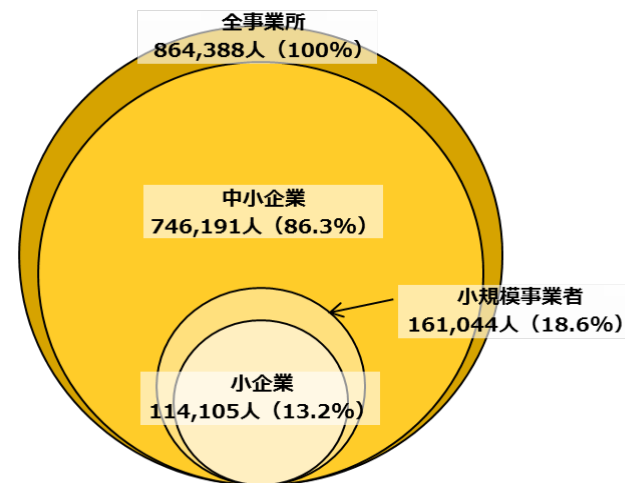
お客の中にインバウンドがいる企業の割合（従業員規模別）



【参考】

資料：総務省「平成26年経済センサス-基礎調査」
福岡市における

従業者数に占める中小企業の割合（民営のみ） 平成26年



※ 統計結果の性質上、中小企業、小規模事業者、小企業の定義を下記のとおりとした。

- ・ 中小企業数：従業者規模300人未満
- ・ 小規模事業者：従業者規模20人（商業・サービス業は5人）以下
- ・ 小企業：従業者規模5人以下

【参考-2】 観光消費がもたらす中小企業への経済波及効果（全国ベースによる考察）

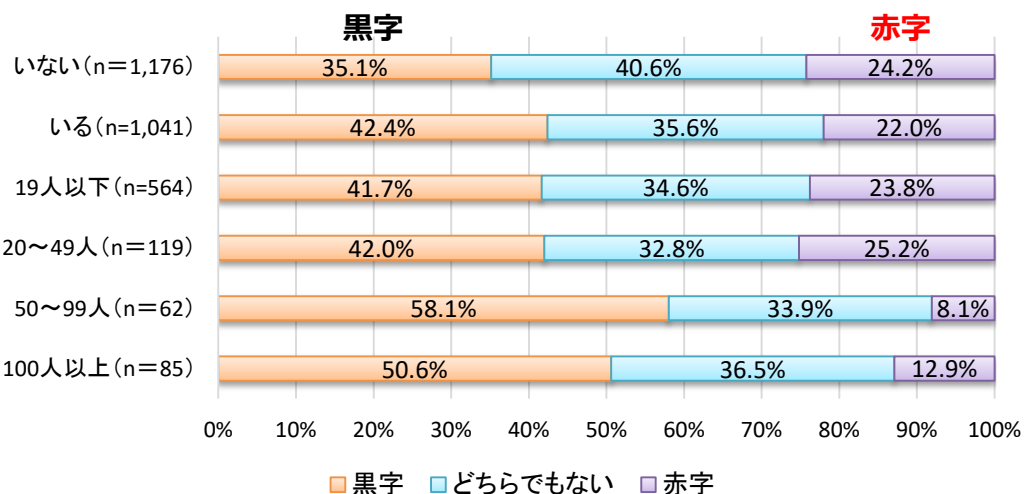
● 外国人観光客の顧客がいる企業とない企業を比較 外国人観光客顧客有りの企業は **黒字の割合が高い**

● 外国人観光客受け入れを契機に海外展開 **28.6%**

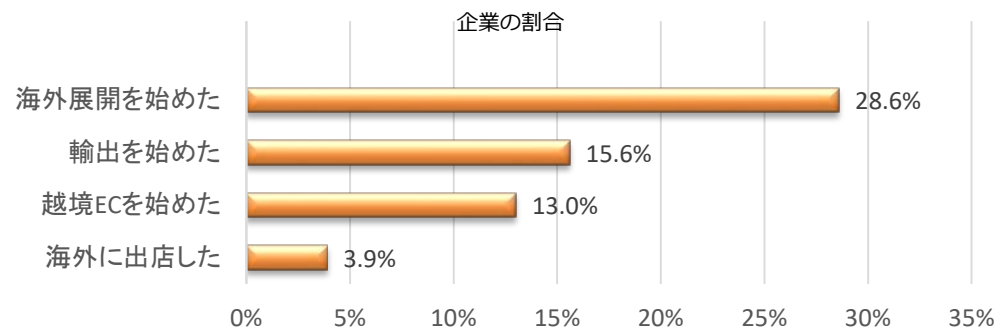
資料：日本政策金融公庫総合研究所「外国人観光客の受け入れに関するアンケート」

最近3年間の採算状況

（インバウンドの有無、1カ月当たりのインバウンド数別）

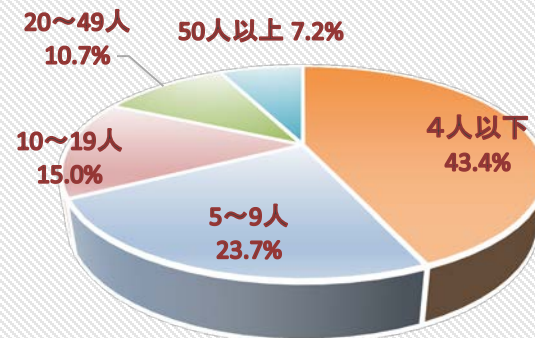


インバウンドを受け入れるようになってから海外展開を始めた



- 調査時点
2017年8月
- 調査対象
日本政策金融公庫国民生活事業及び中小企業事業の融資先のうち、小売業、飲食店、宿泊業、運輸業（貨物運送と個人タクシーは除く）のいずれかを営む企業 10,362社。
- 回収数
2,304社
(回収率22.2%)

アンケート回答企業の従業員数



まとめ ※調査結果より抜粋

○お客のなかにインバウンドがいる企業の割合は、アンケートに回答した企業全体では47.0%である。1カ月当たりのインバウンド数を見ると19人以下の企業が68.0%を占めているが、50~99人という企業も7.4%、100人以上の企業も10.3%ある。

○お客のなかにインバウンドがいる企業には、インバウンドがない企業に比べて業績の良いものも多く、特に1カ月当たりのインバウンド数が50人以上の企業では、最近3年間の売上高と採算状況がそれぞれ増加傾向、黒字とする企業が半数を占める。インバウンドを多く受け入れることで業績を伸ばしている企業が少なくない。

○少数ではあるが、インバウンドを受け入れたことを契機として、海外展開を始めた企業もみられる。観光消費の分野にとどまらず、インバウンドの増加は中小企業に成長の機会をもたらしている。

【参考-3】 福岡市の観光消費に係る市域内の資金の動き（考察）

- 福岡市の観光産業事業所における福岡市内への支出割合 全国平均を19.5ポイント上回る **38.9%**
- 宿泊・飲食サービス業の福岡市内への支出割合 全国平均を25.6ポイント上回る **67.4%**

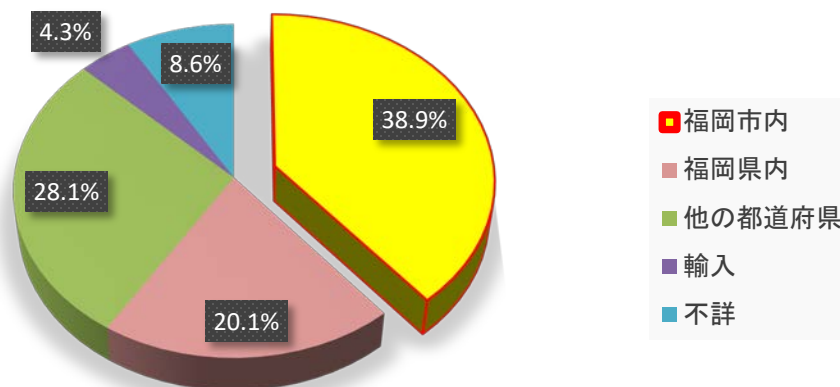
【博多区サンプル：4,282事業所】

業種：宿泊サービス業，飲食サービス業，旅客輸送サービス業，輸送設備レンタルサービス業，旅行業，その他の予約サービス業

文化サービス業，スポーツ・娯楽サービス業，小売業

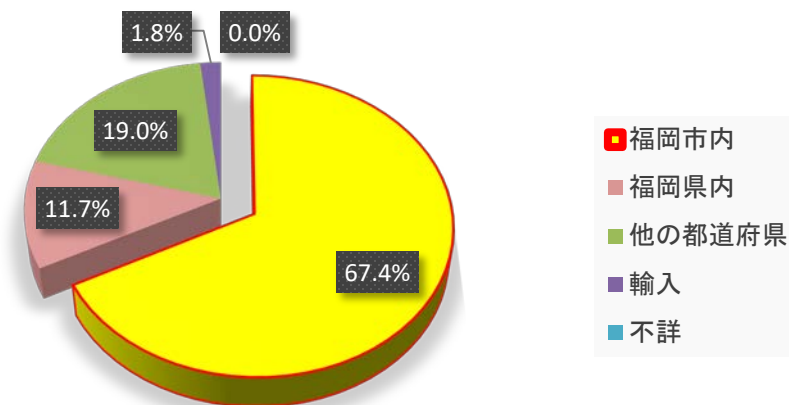
資料：観光庁「平成24年観光地域経済調査」

主な「仕入・材料費」「外注費」の支払先地域



【宿泊・飲食サービス業】

主な「仕入・材料費」「外注費」の支払先地域



注）観光産業とは，UNWTO（世界観光機関）が「観光統計に関する国際勧告2008」において規定されている「観光客に対して直接商品の販売又はサービスを提供する産業」であり，その通り分類（幹線輸送を除く。）。